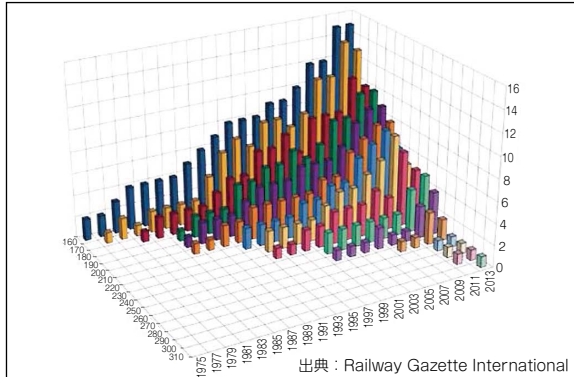


輸送 世界各国の高速列車の駅間平均速度ランキング

原題: How fast is fast enough?
誌名: Railway Gazette International Vol.169 No.7 (2013-7) p31-37

本誌で2年毎に発表しているランキングの2013年版である。全体を俯瞰すると、高速列車の平均速度が300km/h以上、250~300km/h、250km/h未満の3つの速度域に分かれていく傾向が見える。この分化の原因は、路線のタイプ、マーケットの特性、高速運行の経済性によると思われる。



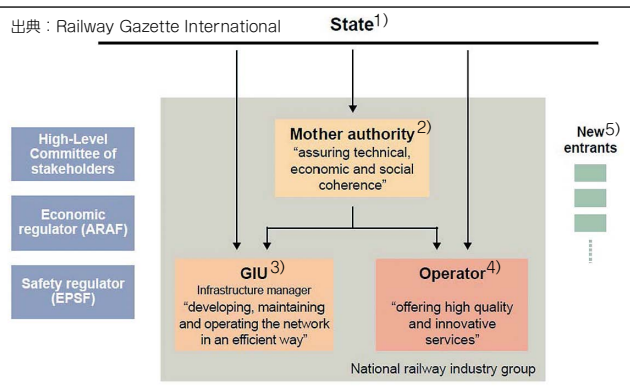
平均速度160km/h以上の高速列車を運行する国の数に対する40年間の変化を、平均速度域10km/h毎に積み上げた。着実に国の数が増加していることがわかる

縦軸: 平均速度 (160-310km/h)、横軸: 年 (1975-2013)、高さ軸: 高速列車運行国の数 (0-16)

経営 フランス鉄道の組織改革

原題: National flagship must raise its standard
誌名: Railway Gazette International Vol.169 No.7 (2013-7) p47-50

フランスの鉄道では、鉄道事業の組織体制に起因すると考えられる多くの課題が顕著になってきた。これらに対応して、財政均衡の復活および公的鉄道セクターの監督業務を担当する「戦略機関」の創設を柱にした「フランス政府の改革パッケージ」が、2013年5月29日に明らかにされた。本文ではインフラ管理の在り方を中心とした再建政策を概説している。



Jean-Louis Bianco 報告書で提案されているフランス鉄道の組織改革

1) 国家、2) 中央機関、3) インフラ管理者、4) 運行管理者、5) 新事業体

輸送 サイバーマン: 労働作業負荷確認のための測定システム

原題: Ceyebberman: Ein Messsystem zur Ermittlung der Arbeitsbelastung
誌名: Eisenbahn Ingenieur Vol.64 No.7 (2013-7) p36-39



組み立て作業中のサイバーマン

- 1) センサによる手の動作監視
- 2) 視野を把握するセンサ付きメガネ

カッセル大学ではDBのKassel工場で、各種作業における作業員の身体的負荷や心理的な影響等を観察と質問形式で調査を行った。また、身体動作や視野の動きなどを、工場作業員や運転台内の乗務員に装着したセンサで検知し、データ収集を行うサイバーマン方式による調査を行った。これらは労働条件の変更を行う際の情報収集で有力な手段となる。

電力 Ticket2 Kyotoはエネルギー回生システムを探求している

原題: Ticket2Kyoto explores energy recovery systems
誌名: Railway Gazette International Vol.169 No.6 (2013-6) p52-54

EUに資金提供された研究プログラムTicket2Kyoto (EUに後援された京都宣言を目指したエネルギー消費削減計画) は様々なタイプの逆流可能な変電所の試験をしている。回生ブレーキエネルギーを回収する技術は、車上・地上の電力貯蔵装置、3相網への逆流を可能とする静止変換器、および双方向コンバーターによる逆流可能変電所の3つに分けられる。この計画にはパリ交通公団RATPなど5つの陸上交通機関が参画している。



Alstom社のHesop (高調波低減およびエネルギー節減の最適化) 技術はLa Rochelleにて試験中で、パリのライトレールT1線の変電所に採用された



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。
⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。
⇒問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp